

ダイキンMRエンジンアリング

船用空冷式エアコンの最新型発売

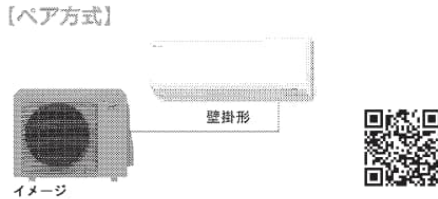
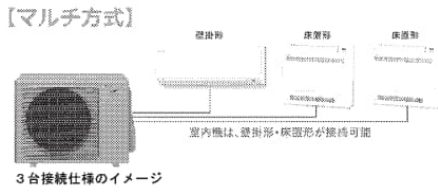
内航小型船向け ペア・マルチの2方式

ダイキンMRエンジンアリングは、船用小型空冷式エアコン「キャビンパートナー」について、内航船など小型船舶向け最新モデルを発売した。「キャビンパートナー」シリーズは船舶専用設計であったため、振動や傾斜（揺動）、塩害に強いことが特徴。室内機の側面からドレンを排水できる構造となっており、振動や傾斜によるドレン水の漏水を防ぎ、機械や周辺機器の故障リスクを低減。また、最新モデルでは、室内機・室外機ともに耐塩害仕様とし、耐久性を向上させている。他方、環境面では、冷媒に環境負荷が少ない「R32」を採用している。

一般的に、空調機の種類は「水冷式エアコン」と「空冷式エアコン」に分けられ、内航船などの一部小型船舶においては市販されている家庭用エアコンをそのまま搭載せざるを得ない。家庭用エアコンは、水配管やポンプなどの付帯設備が必要となる。空冷式は、それら付帯設備が不要となるため、設置スペースが限定される内航船や旅客船、練習船など小型船舶のニーズが高い。しかし、現在は船舶用途でのAC100V仕様かつた（同社）。

また、小型船をはじめとする暖房に蒸気を使わない船舶では、冬場に灯油を燃料とする暖房機や電気ヒーターなどを使用していることが多く、省燃料、省メンテナンスを実現できるヒートポンプ式の暖房機能がある空冷式エアコンの需要が高まっていた。

こうした中で同社は、小型船の課題や需要に対応した小型空冷式エアコン「キャビンパートナー」の最新モデルを市場投入した。



新たなモデルでは、1台の室外機と1台の室内機を接続する「ペア」方式に加え、1台の室外機に対して室内機を最大3台まで接続できる「マルチ」方式をラインアップ。ペア方式は家庭用エアコンからの置き換え可能な室内電源AC100V仕様で、能力は冷房時2.8〜3.6kW、暖房時3.6〜4.2kW。フ

イヤレスタイプのリモコンでおり、操縦室などで視界を妨げることなく設置しても操作できる。一方、マルチ方式は室外電源AC200V仕様で、能力は冷房時総合5.3〜6.8kW、暖房時総合6.8〜8.6kWとなった。

同製品に関する問い合わせは、ダイキンMRエンジンアリング機営業課（TEL06・4805・72063、Eメール dmrehakyo@daijin.co.jp）まで。

とで、現在主に小型船で使用されている家庭用エアコンからのスムーズな置き換えが可能となる。従来の「ペア」方式のみならず、「マルチ」方式も導入することでユーザーのさまざまなニーズに対応。設置スペースが限られる小型船をターゲットに積極的な営業活動を展開する方針だ。